

第5回 若槻 総フェスタ 盛大に開催!

リジゴを始めとした農産物の収穫を祝い、区を超え、世を超え、学区を超えて交流する若槻地区の住民みんなが楽しめる「まつり」を目指し、平成30年に「第1回若槻フェスティバル」を開催しましたが、新型コロナの影響で令和元年の第2回を最後に中止としました。

コロナ禍で人が集まる機会が奪われ、イベントの中止も余儀なくされましたが、なんとか地域を盛り上げようと新たな名称「若槻総フェスタ」とし、10月30日(日)若槻コミュニティセンターで開催しました。

当日は天候にも恵まれ、一般参加者、コミわかスタッフ、清泉女学院大学と北部中学校のボランティアなど総勢600名が参加し、盛大に開催することが出来ました。前日にスタッフによるバザー会場と体育館内の準備を行い、当日は7時30分から屋外会場を整え無事開会式を迎えることができました。今回は感染リスクの高い飲食は設けず、コミわか土曜朝市生産者による軽トラ販売を充実しました。

開会式は笠原副会長(会長代行:区長部長)による挨拶で始まり、「三登山太鼓」による迫力ある太鼓音でスタートしました。順次バザー会場やキッズコーナー、農産物販売もオープンし、体育館ステージでは三登山太鼓、若槻音頭・甚句の披露、獅子舞の演舞による伝統文化の発表が行われました。また、サイまる・アルクマとの写真撮影会や清泉女学院短期大学ダンスサークルの演技が行われ、会場が盛り上がりました。

キッズコーナーでは、仮装してハロウィン写真の撮影、バルーンアート、ボーリング、輪投げなどに子どもたちが熱中して楽しむ姿が見られました。また屋外ではプラ金魚すくいに多くのご家族が順番待ちになるなど大人気でした。

バザーは日用品・雑貨は三登山ホールで、園芸品は屋外テントで開催され、お陰様で売ることができ、売上金は上野火災義援金とさせていただきます。三登山ホールのバザーは、コロナ感染防止対策として



三登山太鼓によるオープニング



獅子舞の演舞



アルクマ、サイまるとの撮影会



バルーンアート